

北部構内における遺跡試掘調査のお知らせ

文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センター
京大文化遺産調査活用部門
科学研究費補助金プロジェクト

京大の北部構内には、幕末の一時期に土佐藩邸が設置され、のちに陸援隊屯所として使用されたことが知られています。これまでの発掘調査で、南側を画する東西方向の堀が見つかり、土佐で作られた当時の瓦が大量に出土しています。しかし、それ以外には関連する調査成果は無く、また、藩邸の規模や内部の様子を示すような記録類も残っていないことから、構内のどのあたりまでが藩邸の敷地となっていたのか、わからない状態にあります。

こうした現状を解決する情報を得て、遺跡の歴史資源としての保存活用を進める目的で、昨年度に地中遺跡探査を実施して反応が得られた地点において、関連する遺構の存否を確認する小規模な試掘調査を実施いたします。みなさまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

調査期間：令和5年12月18日（月）～20日（水）予定
（雨天等の予備日21日（木）・22日（金））

場所：京都大学北部構内理学部6号館西側（下図）

調査面積：10㎡（東西2m×南北5m）

掘削深は最大で1.5m程度までの予定



調査使用地（南東から）

※南辺付近に東西2m×南北5mのトレンチを設定し、上面1m程度を重機で、それ以下を人力で掘削予定。北半部を排土と機材の置き場として使用します。終了後は速やかに埋め戻します。開始時と終了時に車両等が入りますが、期間中通行止はありません。

科研費
KAKENHI

令和4～6年度基盤研究 (C)22K00985
「都市化」とは何か—歴史都市京都近郊における長期的検証—
連絡先：伊藤淳史（研究代表者・内 7695）
ito.atsushi.8e@kyoto-u.ac.jp

発掘調査関連 詳細計画

調査で使用する範囲

北側を排土・機材置き場として使用

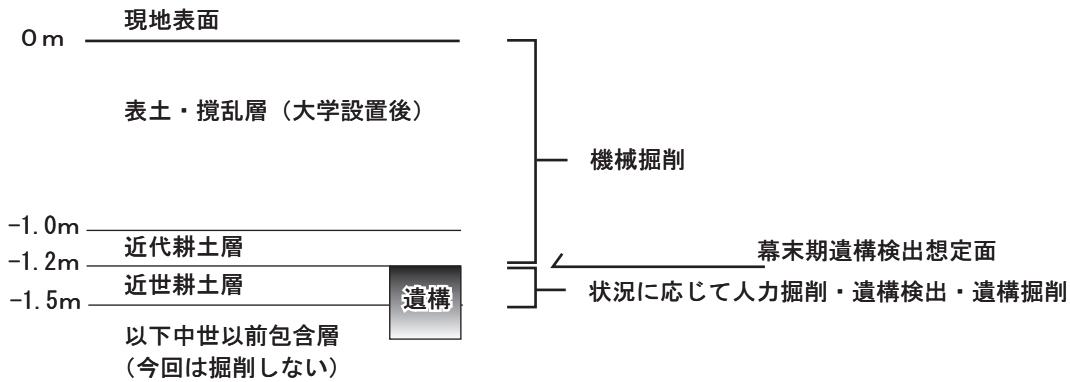
トレンチ設定予定位置



調査位置 (左: 詳細、右: 1/5万)

調査工程

12/18 (月)	12/19 (火)	12/20 (水)	12/21 (木)	12/22 (金)
機材搬入		埋め戻し復旧		
表土除去 (機械掘削)	包含層掘削 (機械+人力) 遺構検出・掘削 (人力)	遺構・層位記録	予備日	予備日



現地層序・調査深度想定図